

いわき市の山六観光で体験談を聴く高校生ら



米の高校生10人 いわき視察

被災時の様子や
復興状況を学ぶ

米国の高校生十人が二十一日、いわき市の沿岸部を訪れ、東日本大震災の被災、復興状況を視察した。

日本の文化や歴史を学ぶため京都など各地を巡っている。震災の被害について理解を深めようと同市を訪れた。教育支援グローバル基金と東北地方の大学生が通訳などで支援した。

同市平薄磯の山六観光では、被災当時の写真を見たほか、地域住民の体験談を聴いた。ノーフォーク農業高三年のラナ・コーエンさん(も)は「写真で被害の大きさを知ることができた。現在はこんなに美しい海が広がっているのに」と話していた。

◇おことわり 福島民報、河北新報、東京新聞共同企画「3・11記者たちの3年」は休みました。